

Dell™ モバイルプロジェクター
(M900HD)
取扱説明書



メモ、注意、警告

-  **メモ**：「メモ」は、プロジェクタの使用に際して役立つ重要な情報です。
-  **注意**：「注意」は、指示に従わない場合ハードウェアの損傷やデータ損失の可能性を示しています。
-  **警告**：「警告」は、物的損害、負傷、もしくは死の可能性を意味します。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。
© 2013 Dell Inc. All rights reserved.

Dell Inc. 社の書面による許諾を受けることなく、どのような形態であっても、本書を複製することは固く禁じられています。

本書で使用されている商標：Dell および DELL ロゴは、Dell Inc. の商標です。DLP、DLP ロゴおよび DLP BrilliantColor は、TEXAS INSTRUMENTS INCORPORATED の商標です。Microsoft および Windows は、米国および / またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

Wi-Fi® は、Wireless Ethernet Compatibility Alliance, Inc. の登録商標です。

本書で使用されているその他の商標および製品名はそれぞれの所有者に帰属しています。Dell Inc. は他社の所有する商標や製品名の所有権をすべて放棄します。

モデル：Dell モバイルプロジェクター (M900HD)

2013 年 7 月 改訂 A00

目次

1	プロジェクタについて	4
	プロジェクタについて	5
2	プロジェクタの接続	7
	コンピュータへの接続	8
	Wi-Fi を使ってスマートフォンまたはタブレットに 接続する.....	10
	DVD プレーヤーの接続.....	11
	マルチメディアへの接続.....	12
3	プロジェクタの使用法	14
	プロジェクタの電源を入れる	14
	プロジェクタの電源を切る	14
	投影画像の調整.....	15
	プロジェクタのフォーカス調整	16
	投影画像サイズの調整	17
	コントロールパネルの使用法	19
	リモコンの使用法	21
	リモートコントロールバッテリーの取り付け.....	23
	リモコンの動作範囲	24
	オンスクリーンディスプレイの使用法	25
	マルチメディア入門.....	35
	Intel® ワイヤレスディスプレイ (WiDi) の インストール.....	44
	Wi-Fi ディスプレイのインストール.....	48
	Web 管理からプロジェクタの管理	59
	アプリケーショントークンの作成.....	70
4	プロジェクタのトラブルシューティング	71
	ガイド信号	74
5	仕様	75
6	Dell へのお問い合わせ	79
7	付録：用語集	80

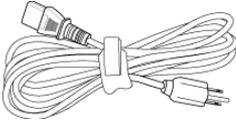
1

プロジェクタについて

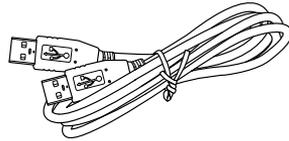
このプロジェクタには次のものが付属しています。すべての付属品が揃っていることをご確認ください。万一、不足の品がありましたら、Dell™ までご連絡ください。

同梱されているもの

電源ケーブル



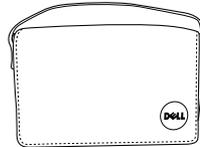
1.2 m USB ケーブル (USB-A - USB-A)



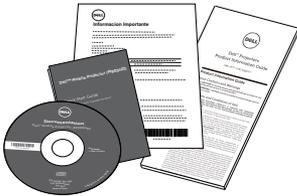
リモコン



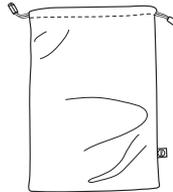
キャリーケース



CD ユーザーガイドおよびドキュメント

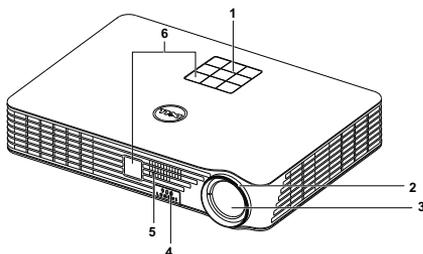


スリーブカバー

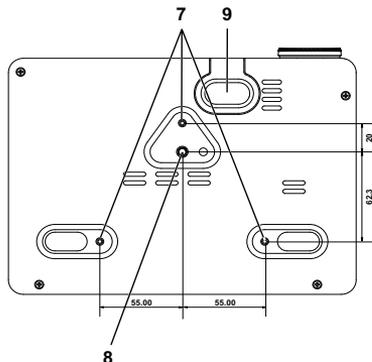


プロジェクタについて

上方図



底面図



- | | |
|---|--|
| 1 | コントロールパネル |
| 2 | フォーカスリング |
| 3 | レンズ |
| 4 | エレベーターボタン (高さ調整用) |
| 5 | 3W スピーカー |
| 6 | IR レシーバ |
| 7 | 取付ホール (天吊り用) : ねじ穴 M3 x 6.5 mm 深度。
推奨トルク <15 kgf-cm |
| 8 | 取付ホール (三脚用) : インサートナット 1/4"*20 UNC |
| 9 | エレベーターフット |

△ 注意 : 安全上のご注意

- 1 プロジェクタ機器は熱を発するものの近くでは使用しないでください。
- 2 プロジェクタはほこりの多い場所では使用しないでください。ほこりが原因でシステムが故障し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることがあります。
- 3 プロジェクタはよく換気された場所に設置してください。
- 4 プロジェクタにある通気口や開口部を塞がないでください。
- 5 プロジェクタは 5°C ~ 35°C の周囲温度で操作します。

- 6 プロジェクタの電源をオンにした後、またはオフにした直後は、換気口がきわめて高温になっているため、触れないようにしてください。
- 7 プロジェクタがオンになっている間レンズをのぞき込まないでください。目を損傷する原因となります。
- 8 プロジェクタがオンになっている間、プロジェクタの前に物体を置かないでください。熱で物体が溶けたり燃える原因となります。
- 9 レンズを拭くときはアルコールを使用しないでください。
- 10 心臓ペースメーカーの傍で、ワイヤレスプロジェクタを使用しないでください。
- 11 医療機器の傍で、ワイヤレスプロジェクタを使用しないでください。
- 12 電子レンズの傍で、ワイヤレスプロジェクタを使用しないでください。

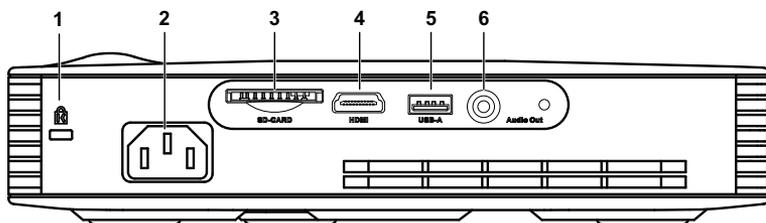


メモ：

- お客様自身でこのプロジェクタの天井取り付けを試みないでください。取り付けは、専門の取り付け業者に依頼してください。
- 推奨されるプロジェクタ天井取り付けキット (P/N:C3505)。詳細については、Dell サポート Web サイト (dell.com/support) を参照してください。
- 詳細については、プロジェクタに付属する安全情報を参照してください。
- M900HD プロジェクタは室内専用です。

2

プロジェクタの接続

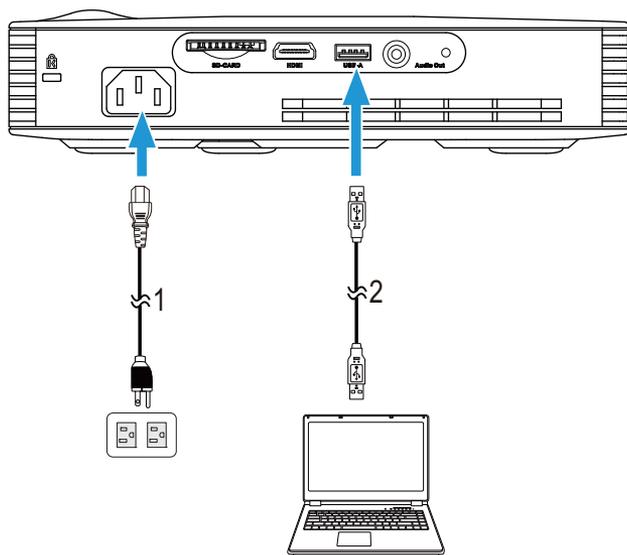


1	セキュリティケーブルスロット	4	HDMI コネクタ
2	電源コードコネクタ	5	USB ディスプレイ用 USB タイプ A コネクタ、マルチメディア再生（ビデオ / 音楽 / 写真 / オフィスビューア）、USB メモリストレージアクセス（USB フラッシュドライブ / 内部メモリ）およびプロジェクタのファームウェアアップグレード
3	マルチメディア再生（ビデオ / 音楽 / 写真 / Office ビューア）用 SD カードスロット	6	オーディオ出力コネクタ

△ 注意：この章で説明する交換処理の前に、5 ページにある「安全上のご注意」をお読みください。

コンピュータへの接続

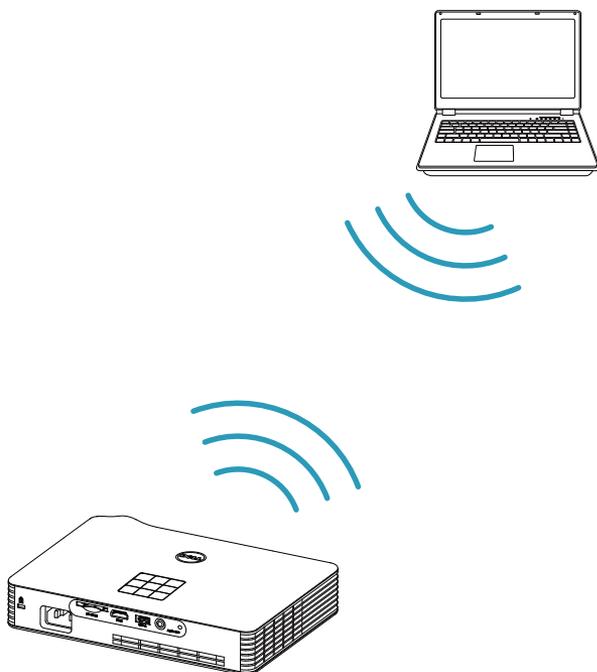
USB ケーブルを使ったコンピュータの接続



-
- 1 電源コード
 - 2 USB-A - USB-A ケーブル
-

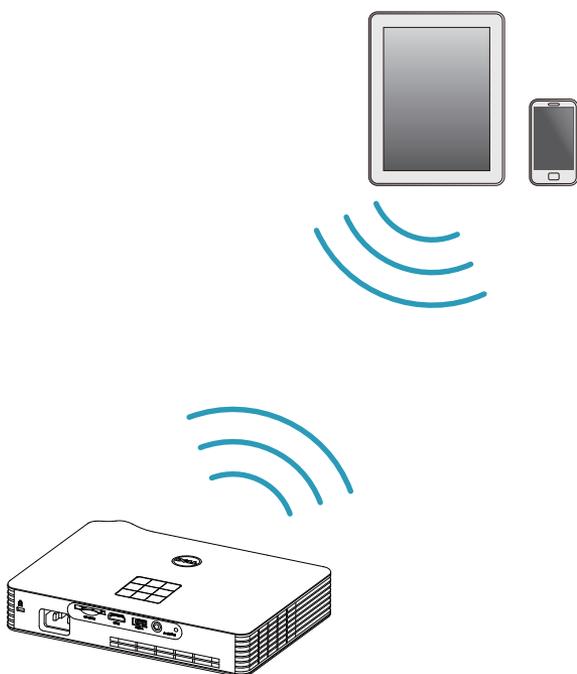
 **メモ:** プラグアンドプレイ。プロジェクタに1本のUSBケーブル（タイプA対タイプA）が同梱されます。追加USBケーブル（タイプA対タイプA）は、Dell Web サイト (www.dell.com) でご購入いただけます。

Intel® WiDi または Wi-Fi を使用するコンピュータの接続



- **メモ**：別のワイヤレス接続を検出するには、お使いのコンピュータにワイヤレスコネクタを装備し適切に設定する必要があります。ワイヤレス接続の設定方法については、コンピュータのマニュアルを参照してください。
- **メモ**：Intel® WiDi を介してコンピュータを接続するには、お使いのコンピュータが Intel® WiDi 互換である必要があります。

Wi-Fi を使ってスマートフォンまたはタブレットに接続する

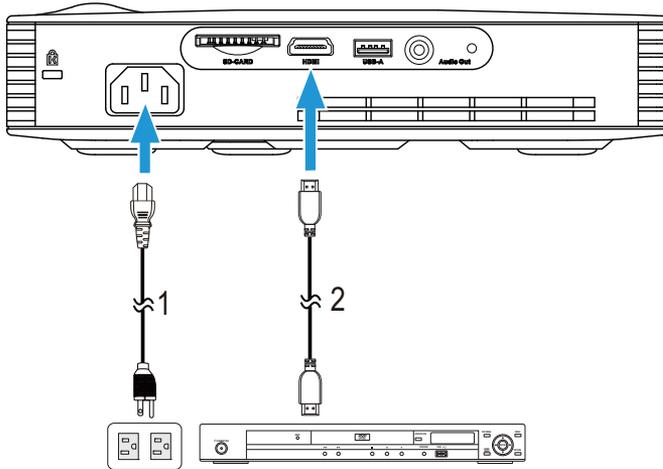


メモ : Dell M900HD は、MobiShow 機能および WiFi-Doc 機能をサポートします。それらは、Android デバイスまたは iOS デバイスからワイヤレスでサポートされるコンテンツを送送するアプリケーションです。お使いのモバイルデバイスにアプリケーションをインストールして起動した後で、Wi-Fi を有効化し、プロジェクタネットワーク (Dell M900HD) に接続します。詳細については、Dell サポートサイト (dell.com/support) を参照してください。サポートされるファイルは次の通りです。

MobiShow	写真形式	PtG フォーマット
	JPEG/JPG	PtG2
WiFi-Doc	文書フォーマット	写真フォーマット
	MS Word/Excel/PowerPoint/PDF/Text	JPEG/JPG

DVD プレーヤーの接続

HDMI ケーブルを使った DVD プレーヤーの接続



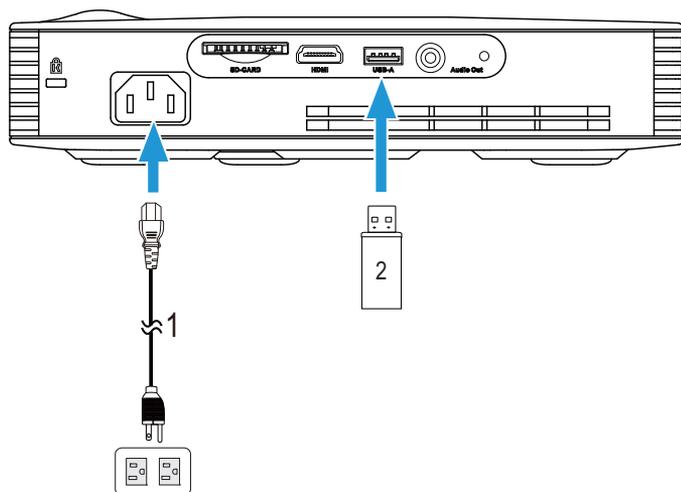
1 電源コード

2 HDMI ケーブル

 **メモ** : HDMI ケーブルは付属していません。Dell Website (www.dell.com) で HDMI ケーブルをご購入いただけます。

マルチメディアへの接続

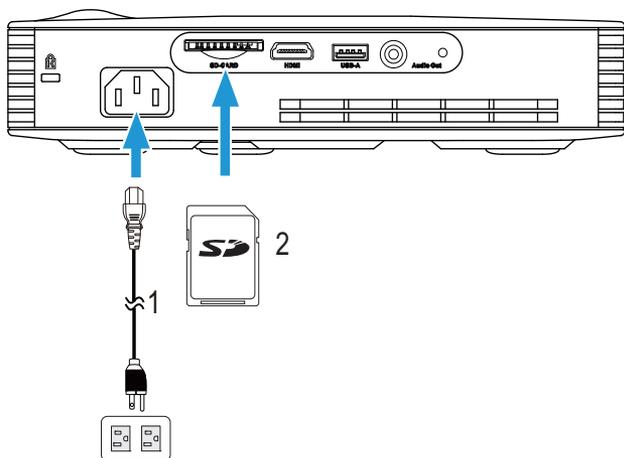
USB フラッシュディスクを使ったマルチメディアへの接続



- 1 電源コード
- 2 USB フラッシュディスク

 **メモ** : USB フラッシュディスクはプロジェクタに付属していません。

SD カードを使用するマルチメディアへの接続



1 電源コード

2 SD カード

 **メモ** : SD カードはプロジェクタに付属していません。

3

プロジェクトタの使用法

プロジェクトタの電源を入れる



メモ: プロジェクトタの電源をオンにしてから、ソース（コンピュータ、DVD プレーヤーなど）の電源をオンにしてください。電源ボタンを押すまで、ボタンは白色で点滅します。

- 1 電源コードと適切な信号ケーブルをプロジェクトタに接続します。プロジェクトタの接続については、7 ページの「プロジェクトタの接続」を参照してください。
- 2 電源ボタンを押します（電源ボタンの位置については、19 ページの「コントロールパネルの使用法」を参照してください）。
- 3 ソース（コンピュータ、DVD プレーヤーなど）の電源を入れます。
- 4 適切なケーブルを使用して、プロジェクトタにソースを接続します。プロジェクトタにソースを接続する方法については、7 ページの「プロジェクトタの接続」を参照してください。
- 5 デフォルトで、プロジェクトタの入力ソースは Intel® WiDi に設定されています。必要に応じて、プロジェクトタの入力ソースを変更してください。
- 6 プロジェクトタに複数のソースが接続されている場合は、リモコンまたはコントロールパネルのソースボタンを押して、希望するソースを選択します。ソースボタンを確認するには、19 ページの「コントロールパネルの使用法」と 21 ページの「リモコンの使用法」を参照してください。

プロジェクトタの電源を切る



注意: プロジェクトタの接続を外す前に、次に説明する手順に従って正しくシャットダウンします。

- 1 電源ボタンを押します。プロジェクトタを適切にオフにするには、スクリーンに表示される指示に従ってください。



メモ: 「電源ボタンを押してプロジェクトタの電源をオフにします。」というメッセージが画面に表示されます。メッセージが 5 秒後に消えるのを待つか、メニューボタンを押してメッセージを消去します。

- 2 電源ボタンをもう一度押します。冷却ファンが 120 秒間作動します。
- 3 時間を掛けずにプロジェクトタの電源を切るには、プロジェクトタの冷却ファンが作動中に電源ボタンを 1 秒間押し続けます。

 **メモ**：プロジェクタの電源をもう一度入れる場合は、内部温度が安定するまで 60 秒待ちます。

4 コンセントとプロジェクタから電源ケーブルの接続を外します。

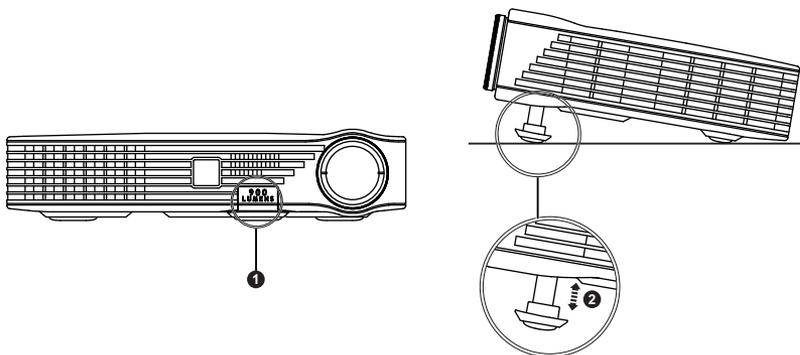
投影画像の調整

プロジェクタの高さを上げる

- 1 エレベーターボタンを押します。
- 2 プロジェクタを任意の高さまで上げ、ボタンを離してエレベーターフットを固定します。

プロジェクタの高さを下げる

- 1 エレベーターボタンを押します。
- 2 プロジェクタを下げ、ボタンを離してエレベーターフットを固定します。

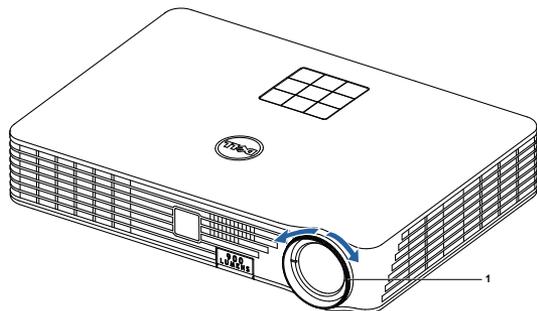


-
- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | エレベーターボタン |
| 2 | エレベーターフット（傾きの角度：0～9.6度） |
-

プロジェクタのフォーカス調整

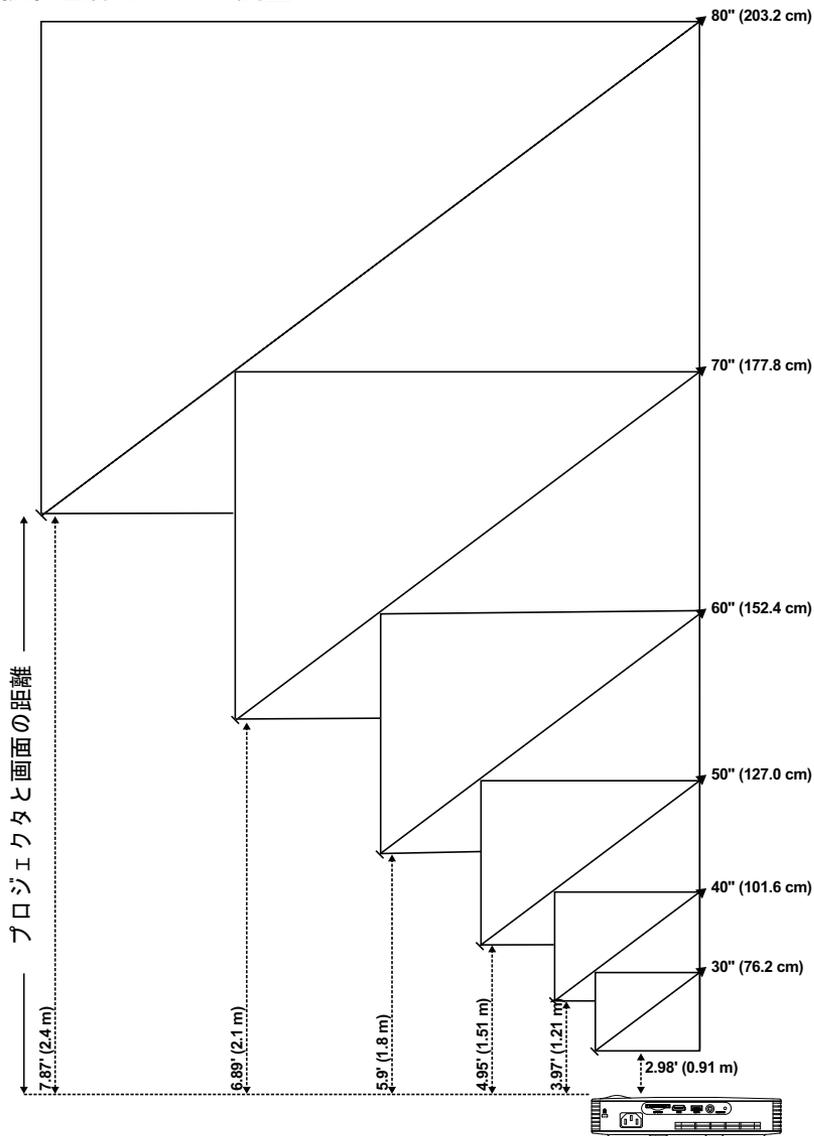
△ **注意:** プロジェクタを移動したり、キャリーケースに収納する場合には、エレベーターフットが完全に引っ込んでいることを確認して、プロジェクタが破損しないようにします。

1 画像が鮮明になるまでフォーカスリングを回します。プロジェクタで焦点が合う距離は 91 cm ~ 240 cm です。



1 フォーカスリング

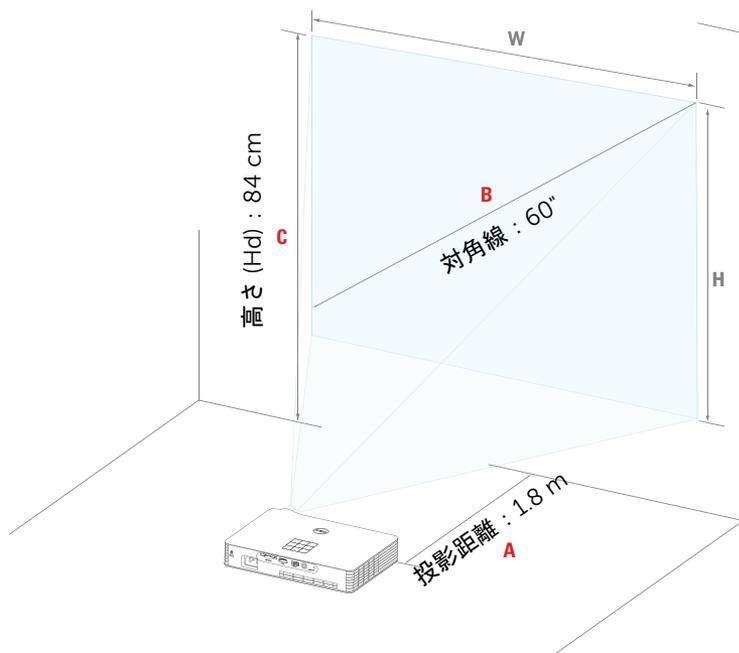
投影画像サイズの調整



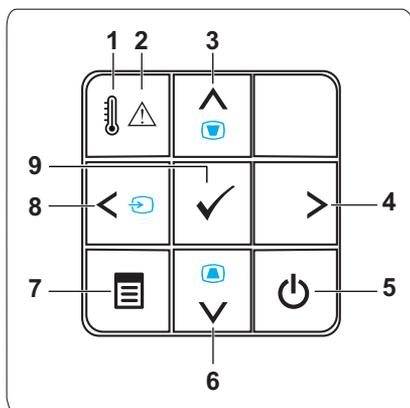
所望距離 (m) <A>	画面サイズ		上部
	対角 (インチ) 	幅 (cm) x 高さ (cm)	画像の底部から 上部まで (cm) <C>
0.91	30	65 x 41	43
1.21	40	86 x 54	57
1.51	50	108 x 67	71
1.8	60	129 x 80	84
2.1	70	150 x 94	98
2.4	80	171 x 107	113

* この表はユーザーの参照用です。

* オフセット比 : 105±5%



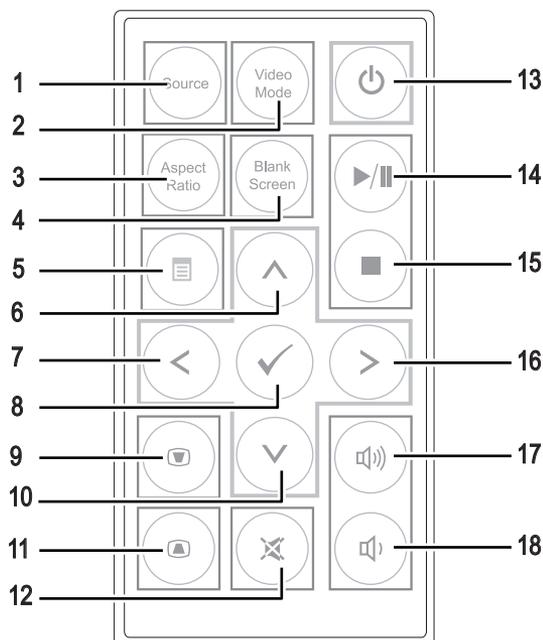
コントロールパネルの使用法



1	温度 LED	温度のオレンジ色のインジケータが点灯または点滅している場合、次の問題のどれかが原因とされます。 • プロジェクタの内部温度が高すぎる 詳しくは、71 ページの「プロジェクタのトラブルシューティング」および 74 ページの「ガイド信号」を参照してください。
2	エラー LED	エラー LED がオレンジ色で点滅している場合、RGB LED の 1 つが故障しています。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。
3	上  / キーストーン調整	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。 ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+/- 40 度)。
4	右 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
5	電源	プロジェクタの電源のオン / オフを切り替えます。詳しくは、14 ページの「プロジェクタの電源を入れる」および 14 ページの「プロジェクタの電源を切る」を参照してください。

6	 / キース トーン調整	<p>このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。</p> <p>ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+/- 40 度)。</p>
7	メニュー 	<p>このボタンを押して OSD を起動します。方向キーとメニューボタンで OSD をナビゲートします。</p>
8	左  / ソース	<p>このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。</p> <p>プロジェクタに複数のソースを接続している場合は、Intel® WiDi、Wi-Fi、DoUSB、HDMI、USB、SD および内部メモリソースから押して切り替えてください。</p>
9	入力 	<p>このボタンを押して選択項目を確定します。</p>

リモコンの使用法

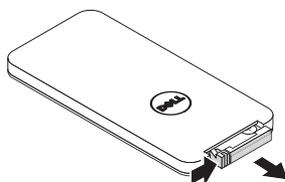


1	Source	このボタンを押してアナログ RGB、コンポジットおよび HDMI ソースを切り替えます。
2	Video Mode	<p>プロジェクトには、データ（プレゼンテーションスライド）やビデオ（映画、ゲームなど）の表示に最適なプリセット設定があります。</p> <p>Video Mode ボタンを押して プレゼンテーションモード、明るさモード、γM 画モード、sRGB、またはカスタムモードを切り替えます。</p> <p>Video Mode ボタンを 1 回押すと、現在の表示モードが表示されます。もう一度 Video Mode ボタンを押すと、モードが切り替わります。</p>
3	Aspect ratio	このボタンを押して、表示された画像のアスペクト比を変更します。

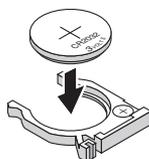
4	何もうつっていない画面	このボタンを押して、画像を表示したり非表示にします。
5	メニュー	このボタンを押して OSD を起動します。
6	上 (▲)	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
7	左 (◀)	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
8	入力	このボタンを押して選択を確定します。
9	キーストーン調整	ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+/- 40 度)。
10	ダウン (▼)	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
11	キーストーン調整	ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+/- 40 度)。
12	消音	このボタンを押して、プロジェクタのスピーカーを消音にしたり消音を解除します。
13	電源	プロジェクタの電源を入れたり切ります。詳しくは、14 ページの「プロジェクタの電源を入れる」および 14 ページの「プロジェクタの電源を切る」を参照してください。
14	再生 / 一時停止 (▶)	このボタンを押してメディアファイルを再生 / 一時停止します。
15	停止 (■)	このボタンを押してメディアファイルの再生を停止します。
16	右 (▶)	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
17	ボリュームアップ	このボタンを押して音量を上げます。
18	ボリュームダウン	このボタンを押して音量を下げます。

リモートコントロールバッテリーの取り付け

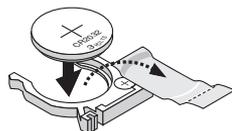
- 1 側面をしっかり押し、バッテリーホルダーを引き出してバッテリーホルダを取り出します。



- 2 CR2025 ボタン電池を入れ、バッテリーホルダーのマークに合わせて電極を正しい向きに合わせます。



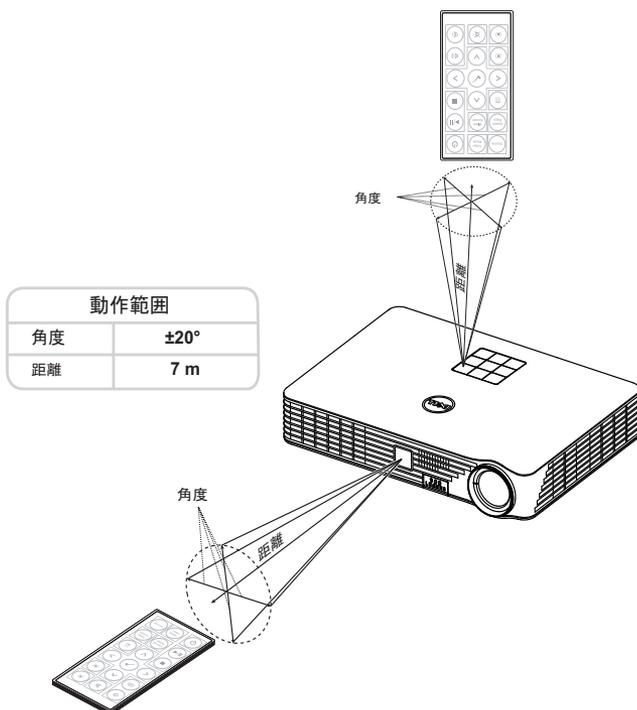
-  **メモ:** リモコンを初めて使用する際は、バッテリーと端子の間にプラスチックシートが挟んであります。ご使用前にそのシートを取り出してください。



- 3 バッテリーホルダーを元に戻します。



リモコンの動作範囲



メモ：実際の動作範囲は、図とわずかに異なることがあります。バッテリー残量が少ない場合も、リモコンでプロジェクタを適切に操作できない原因となります。

オンスクリーンディスプレイの使用方法

- プロジェクタには多言語のオンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューがあり、入力ソースの有無に関わらず表示されます。
- コントロールパネルまたはリモコンの[メニュー]ボタンを押して[メインメニュー]に入ります。
- オプションを選択するには、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの(▲)または(▼)ボタンを押します。
- コントロールパネルまたはリモコンの(◀)または(▶)ボタンを使って設定を調整します。
- OSDを終了するには、コントロールパネルまたはリモコンのメニューボタンを直接おします。

入力ソース

入力ソースメニューを使ってプロジェクタの入力ソースを選択します。



INTEL® WiDi—(✓)を押してプロジェクタのIntel® WiDiガイド画面にアクセスします（デフォルト）。

Wi-Fi—(✓)を押してプロジェクタのワイヤレスガイド画面にアクセスします。

DoUSB—USB ケーブル経由で、プロジェクタにデスクトップ/ノートPCスクリーンを表示します。

 **メモ**：DoUSB が表示されない場合は、71 ページの「トラブルシューティング」を参照してください。

HDMI—(✓)を押して HDMI 信号を検出します。

USB—USB フラッシュディスクから写真、音楽またはビデオファイルを再生できます。35 ページの「マルチメディア入門」をご覧ください。

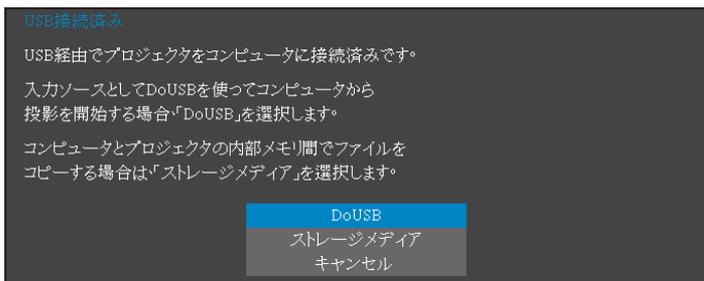
SD—SD カードから写真、音楽またはビデオファイルを再生できます。35 ページの「マルチメディア入門」をご覧ください。

内部メモリ—プロジェクタの内部メモリから写真、音楽またはビデオファイルを再生できます。35 ページの「マルチメディア入門」をご覧ください。

 **メモ**：

ストレージメディア—また、USB ケーブルを内部メモリソースに接続して、コンピュータから内部メモリおよび SD カードに対してコピー、削除、移動などの操作を行うことができます。

USB ケーブル経由でプロジェクタとコンピュータを接続すると、「USB が接続されました」というメッセージが表示され、DoUSB または ストレージメディアから選択することができます。



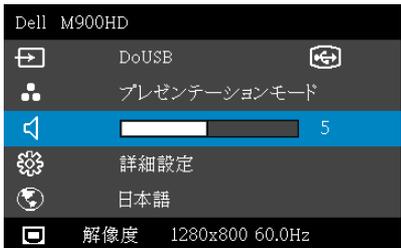
ビデオモード

ビデオモードメニューでは、ディスプレイ画像を最適化します。オプション：プレゼンテーション、明るさ、映画、sRGB（より精密な色を提供します）、カスタム（お好みの設定を設定します）モード。



ボリューム

ボリュームメニューにより、プロジェクタの音量設定を調整できます。



ボリューム ←(◀) を押して音量を下げ、(▶) を押して音量を上げます。

詳細設定

詳細設定メニューは、**画像、表示、投写機、メニュー、パワー、および情報**の設定を変更します。



画像設定 — を選択して押し、画面設定を起動します。[画像設定]メニューには次のオプションがあります。



明るさ — や を押して画像の明るさを調整します。

コントラスト — や を押してディスプレイのコントラストを調整します。

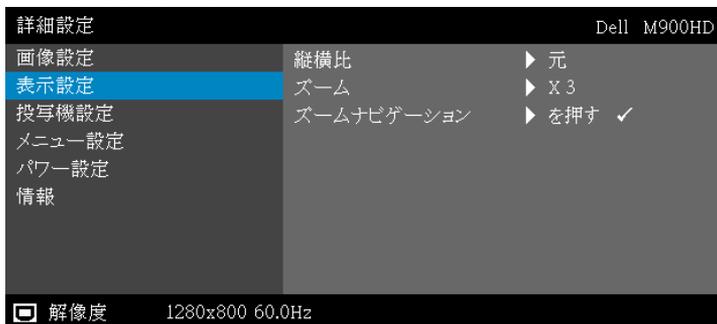
色温度 — 色温度を調整します。画面は、色温度が高いと寒色になり、色温度が低いと暖色になります。

白の強度 — を押し、 と を使用して白の強度を表示します。



メモ：明るさ、コントラスト、色温度および白の強度の設定を調整すると、プロジェクタは自動的にカスタムモードに切り替わります。

表示設定  を選択して押し、表示設定を起動します。表示設定メニューには次のオプションがあります。



縦横比 — 縦横比を選択して画像の表示方法を調整します。オプション：元、16:10 および 4:3。

- 元 — 元を選択して入力ソースに従って画像プロジェクタの縦横比を維持します。
- 16:10 — 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、16:10 スクリーン画像を投影します。
- 4:3 — 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、4:3 スクリーン画像を投影します。

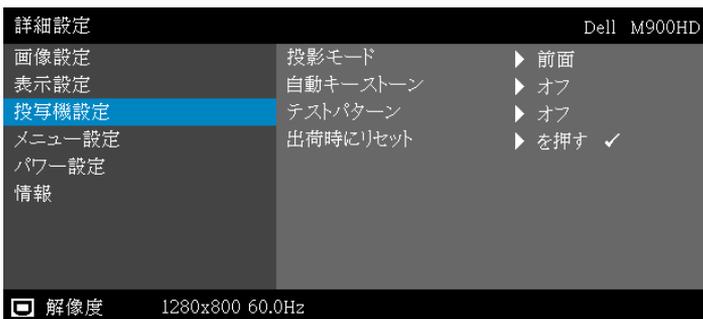
ズーム —  と  を押して、画像をズームし表示します。



ズームナビゲーション —  を押してズームナビゲーションメニューを起動します。

    を使用してプロジェクション画面をナビゲートします。

投写機設定  を選択して押して、プロジェクタ設定を起動します。プロジェクタ設定メニューには次のオプションがあります。



投影モード - プロジェクタの取り付け方法によって投影モードを選択できます。

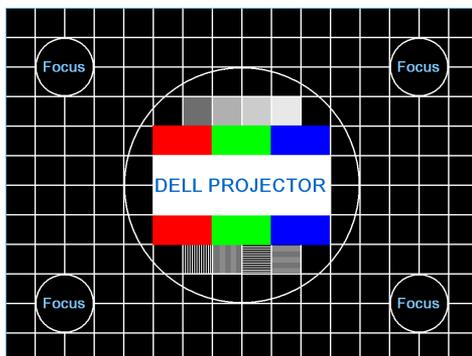
- リアプロジェクションデスクトップ - プロジェクタは画像を反転表示します。透過画面の裏面から投影することができます。
- 背面投射 - 天井取り付け - プロジェクタが画像を反転し、上下を逆に表示します。天井取り付けで透過画面の裏面から投影できます。
- フロントプロジェクションデスクトップ - これは初期設定オプションです。
- 前面投影 - 天井取り付け - 天井取り付けで投影する場合に、プロジェクタが画像を上下逆にします。

自動キーストーン - オンを選択して、プロジェクタを傾けた場合の歪みを自動的に調整します。

テストパターン - テストパターンは、フォーカスと解像度をテストするために使用されます。

オフ、1、または2を選択してテストパターンの有効 / 無効を切り替えることができます。コントロールパネルの  と  ボタンを2秒間同時に押し続けることで、**テストパターン1**を呼び起こすこともできます。コントロールパネルの  と  ボタンを2秒間同時に押し続けることで、**テストパターン2**を呼び起こすこともできます。

テストパターン 1:



テストパターン 2:



出荷時にリセット—確認を選択して を押すと、すべての設定が工場出荷時デフォルト値にリセットされます。以下の警告メッセージが表示されます：

出荷時にリセットしています

コンピュータソースやビデオソース設定もリセットされます。

メニュー設定— を選択して押して、メニュー設定を起動します。メニュー設定は、次のオプションで構成されます。

詳細設定		Dell M900HD
画像設定	メニュー位置	▶ 中央
表示設定	メニュータイムアウト	▶ 120 秒
投写機設定	メニューの透明度	▶ 0
メニュー設定	メニューロック	▶ オフ
パワー設定	パスワード	▶ オフにする
情報	パスワードの変更	▶ を押す <input checked="" type="checkbox"/>

解像度 1280x800 60.0Hz

メニュー位置—OSD メニューの画面上の位置を変更します。

メニュータイムアウト—OSD タイムアウトの遅延時間を調整します。初期設定では、20 秒操作しないと OSD は非表示になります。

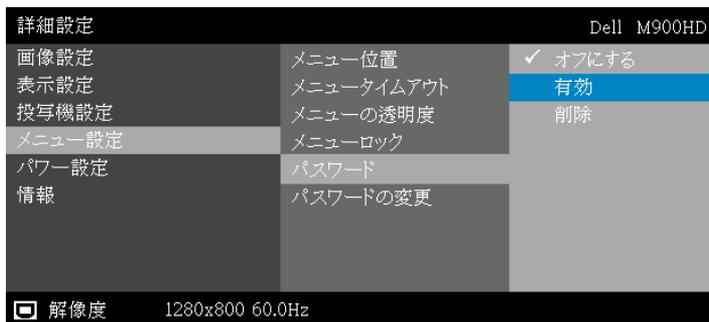
メニューの透明度—OSD 背景の透明度レベルを変更します。

メニューロック—オンを選択するとメニューロックが有効になり、OSD メニューが非表示になります。オフを選択するとメニューロックが解除されます。メニューロック機能を無効にして OSD を非表示にしたい場合は、コントロールパネルまたはリモコンのメニューボタンを 15 秒間押し、次に機能を無効にします。

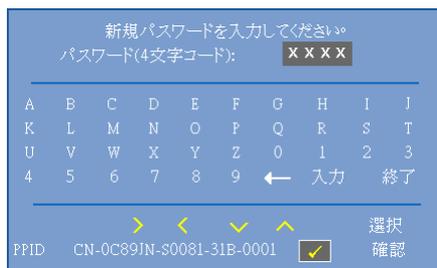
パスワード—パスワード保護が有効になっている場合は、電源プラグをコンセントに挿入し、プロジェクタの電源が初めて入ると、パスワードの入力を求めるパスワード保護画面が表示されます。初期設定ではこの機能は無効です。有効を選択することで、この機能を有効にできます。パスワードを前に設定している場合、まずパスワードを入力してから機能を選択します。このパスワードセキュリティ機能は、次回プロジェクタをオンにすると起動します。この機能を有効にすると、プロジェクタの電源を入れるとパスワードの入力が求められます。

1 初回パスワード入力の要請：

- a **メニュー設定**に移動し、を押したら**パスワード**を選択しパスワード設定を有効化します。



- b パスワード機能を有効にすると、変更スクリーンがポップアップ表示されます。スクリーンから4桁の数字を入力し、を押します。



- c 確認のため、パスワードをもう一度入力します。
- d パスワードが認証されると、プロジェクタの機能とユーティリティにアクセスできます。
- 2 間違ったパスワードを入力した場合、あと2回以内に正しいパスワードを入力する必要があります。3回無効なパスワードを入力すると、プロジェクタは自動的にオフになります。
-  **メモ**：パスワードを忘れた場合は、DELL または正規サービス技術者までご連絡ください。
- 3 パスワード機能を無効にするには、**オフにする**を選択して機能を閉じます。
- 4 パスワードを削除するには、**削除オプション**を選択します。

パスワードの変更 元のパスワードを入力します。次に、新しいパスワードを入力し、新しいパスワードを再び確認します。

元のパスワードを入力してください。*

パスワード(4文字コード):

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

> < ✓ ^ 選択確認

PPID CN-0C89JN-S0081-31B-0001

新規パスワードを入力してください。*

パスワード(4文字コード):

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

> < ✓ ^ 選択確認

PPID CN-0C89JN-S0081-31B-0001

新しいパスワードを再入力してください。*

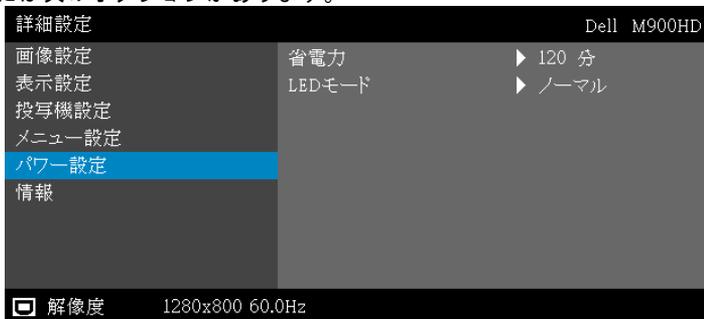
パスワード(4文字コード):

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

> < ✓ ^ 選択確認

PPID CN-0C89JN-S0081-31B-0001

パワー設定  を選択して押して、電源設定を起動します。電源設定メニューには次のオプションがあります。



省電力モードで、プロジェクタは 120 秒間動作しないと省電力モードに入ります。画面に、60 秒間のカウントダウンの後、省電力モードに切り替わるという警告メッセージが表示されます。カウントダウンの間にどれかのボタンを押すと、省電力モードは停止します。

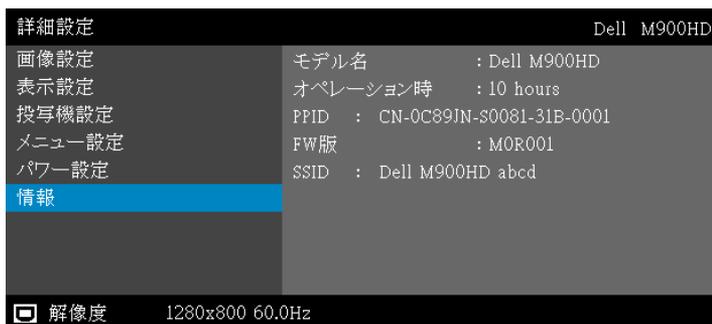
省電力モードに入る遅延時間は、他にも設定できます。遅延時間は、入力信号がない状態でプロジェクタが待機する時間です。

遅延時間の間に入力信号が検出されると、プロジェクタはオフになります。プロジェクタの電源を入れるには電源ボタンを押します。

LED モード — ノーマルまたはエコモードから選択します。

ノーマルモードは、全出力レベルで作動します。エコモードは低電力レベルで作動するため、LED の寿命が延び、操作が静かになり、また、画面上のルミナンス出力が弱くなります。

情報 — 情報メニューには、現在の M900HD プロジェクタ設定が表示されません。



言語

OSD 用の言語を設定します。◀と▶を押して言語を選択し、✓を押して言語を変更します。



マルチメディア入門

サポートされるマルチメディアフォーマット：

写真形式

画像タイプ (拡張子名)	サブタイプ	エンコードタイプ	最大ピクセル
GIF			8000 x 8000
PNG			8000 x 8000
BMP			8000 x 8000
JPEG/JPG	ベースライン	YUV420	8000 x 8000
		YUV422	
		YUV440	
		YUV444	
	プログレッシブ	YUV420	8000 x 8000
		YUV422	
		YUV440	
		YUV444	

ビデオ形式

ファイル形式	最大解像度	最大ビット レート (bps)	最大表示 レート (Hz)	オーディオ形式
Motion JPEG	1920 x 1080、30fps	20Mbps	1080p、60 Hz	LPCM
AVI	1920 x 1080、30fps	20Mbps	1080p、60 Hz	MPEG-1 Layer 3
MPEG-4	1920 x 1080、30fps	20Mbps	1080p、60 Hz	
MOV	1920 x 1080、30fps	20Mbps	1080p、60 Hz	
ASF	1920 x 1080、30fps	20Mbps	1080p、60 Hz	
MKV	1920 x 1080、30fps	20Mbps	1080p、60 Hz	
WMV	1920 x 1080、30fps	20Mbps	1080p、60 Hz	WMA

音楽フォーマット

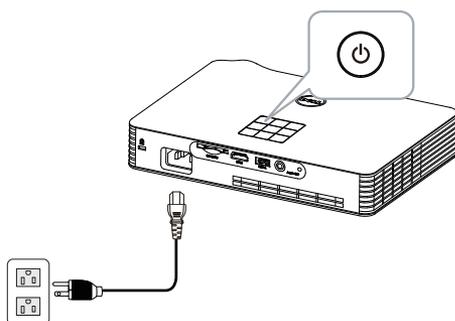
音楽タイプ (拡張子名)	最大サンプルレート (KHz)	最大ビットレート (Kbps)
LPCM	48 KHz	320 Kbps
MPEG-1 Layer 3	48 KHz	320 Kbps
WMA	48 KHz	320 Kbps
WAV	48 KHz	320 Kbps
OGG	48 KHz	320 Kbps

USB を使ってマルチメディアにファイルタイプをセットアップする方法

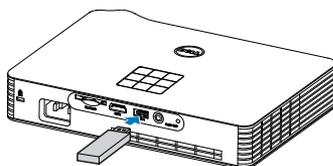
 **メモ**：マルチメディア USB 機能を使用する場合、プロジェクトに USB フラッシュディスクをつなぐ必要があります。

以下のステップに従って、プロジェクトで写真、ビデオ、または音楽ファイルを再生します。

- 1 電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押してプロジェクトの電源をオンにします。



- 2 USB フラッシュディスクをプロジェクトに差し込みます。



- 3 入力ソースメニューにアクセスし、**USB オプション**を選択して  ボタンを押します。



USB 画面が次のように表示されます。



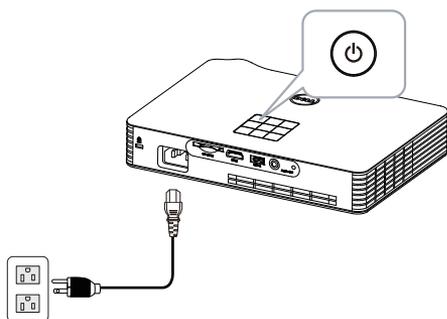
- 4 マルチメディアファイルを選択し、マルチメディアファイル (**写真、ビデオ、音楽**または**オフィスビューア**)を選択し、 を押して再生を開始します。または、**セットアップ**オプションを選択して、マルチメディア設定を変更します。43 ページの「マルチメディアのセットアップ」を参照してください。

SD カードを使ってマルチメディアにファイルタイプを設定する方法

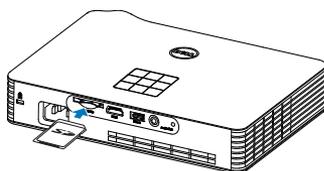
 **メモ:** マルチメディア SD 機能を使用する場合、プロジェクトに SD カードを入れる必要があります。

以下のステップに従って、プロジェクトで写真、ビデオ、または音楽ファイルを再生します。

- 1 電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押してプロジェクトの電源をオンにします。



- 2 SD カードをプロジェクトに差し込みます。SD カードを入れると、画像入カソースは SD 画面に自動的に切り替わります。



- 3 入力ソースメニューにアクセスし、SD オプションを選択して  ボタンを押します。



SD 画面が次のように表示されます。

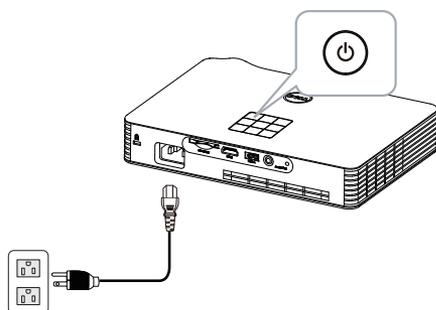


- 4 マルチメディアファイルを選択し、マルチメディアファイル (**写真、ビデオ、音楽**または**オフィスビューア**) を選択し、 を押して再生を開始します。または、**セットアップ**オプションを選択して、マルチメディア設定を変更します。43 ページの「マルチメディアのセットアップ」を参照してください。

内部メモリを使ってマルチメディアにファイルタイプをセットアップする方法

以下のステップに従って、プロジェクタで写真、ビデオ、または音楽ファイルを再生します。

- 1 電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押してプロジェクタの電源をオンにします。



- 2 入力ソースメニューにアクセスし、内部メモリオプションを選択して ボタンを押します。



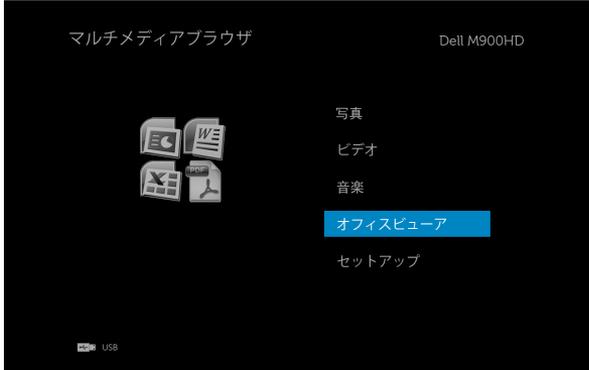
内部メモリ画面が次のように表示されます。



- 3 マルチメディアファイルを選択し、マルチメディアファイル(写真、ビデオ、音楽またはオフィスビューア)を選択し、を押して再生を開始します。または、セットアップオプションを選択して、マルチメディア設定を変更します。43 ページの「マルチメディアのセットアップ」を参照してください。

USB、SD および内部メモリ用オフィスビューア

オフィスビューア機能により、MS Excel、MS Word、MS PowerPoint および PDF ファイルを使用することができます。



ボタンの概要

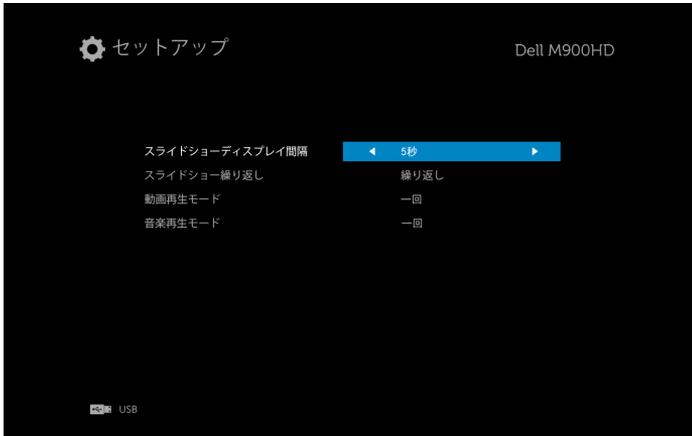
上、下、左、右ボタンを使ってナビゲートし、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンのボタンを使って選択します。✓

ボタン	上 (▲)	ダウン (▼)	左 (◀)	右 (▶)	入力 (✓)	メニュー (☰)
	機能なし	機能なし	前のページ	次のページ	機能なし	前メニューに戻る

USB、SD カード、および内部メモリへのマルチメディアのセットアップ

マルチメディアセットアップメニューでは、写真、ビデオおよび音楽の設定を変更します。

 **メモ**：USB、SD カードおよび内部メモリでマルチメディアセットアップメニューおよび設定は共通です。



スライドショーディスプレイ間隔 — ◀または▶を押してスライドショーの間隔を選択します。タイムアウトになった後、画像は自動的に次の画像に切り替わります。オプション：5秒、10秒、30秒、と1分。

スライドショー繰り返し — ◀または▶を押して、繰り返しまたは繰り返しなしとして繰り返すスライドショーを選択します。

動画再生モード — ◀または▶を押してムービー再生モードを選択します。オプション：一回、1回ループ、すべてループ、とシャッフル。

音楽再生モード — ◀または▶を押してムービー再生モードを選択します。オプション：一回、1回ループ、すべてループ、とシャッフル。

Intel® ワイヤレスディスプレイ (WiDi) のインストール



メモ：お使いのコンピュータが、以下の Intel® ワイヤレスディスプレイのシステム要件を満たしている必要があります。

システムコンポーネント 要件

プロセッサ	次のモバイルプロセッサのいずれかであること： 第3世代 Intel® Core™ プロセッサ ：すべてのモバイルプロセッサ 第3世代 Intel® Core™ i7 プロセッサ ：640M; 660LM; 640LM; 620LM; 620M; 610E; 690UM; 680UM; 660UM; 640UM; 620UM; 660UE; 3610QM; 3770T; 3820QM; 3840QM; 2710QE; 2820QM; 2720QM; 2635QM; 2630QM; 2657M; 2649M; 2629M; 2620M; 2617M; 2540M; 2520M; 2510E; 2640LM; 2620LM; 2630UM; 2610UM; 2530UM; 2920XM 第3世代 Intel® Core™ i5 プロセッサ ：580M; 560M; 540M; 520M; 480M; 460M; 450M; 430M; 580UM; 560UM; 540UM; 520UM; 470UM; 430UM; 2540M; 2520M; 2410M; 2537M; 2430M; 2435M, 2450M; 2467M 第3世代 Intel® Core™ i3 プロセッサ ：390M; 380M; 370M; 350M; 330M; 330E; 3110M; 3120M; 3240; 3240T; 3217U; 3225; 3229Y; 3220; 3220T; 2310E; 2310M; 2312M; 2328M; 2330E; 2330M; 2340UE; 2348M; 2350M; 2357M; 2365M; 2367M; 2370M; 2377M
-------	---

グラフィック	Intel® HD グラフィック
--------	------------------

ワイヤレス	次のいずれかであること： Intel® Centrino® Wireless-N 1000、1030、2200、または 2230 Intel® Centrino® Wireless-N 2200（デスクトップ用） Intel® Centrino® Advanced-N 6200、6205、6230、または 6235 Intel® Centrino® Advanced-N 6205（デスクトップ用） Intel® Centrino® Wireless-N + WiMAX 6150 Intel® Centrino® Advanced-N + WiMAX 6250 Intel® Centrino® Ultimate-N 6300
-------	--

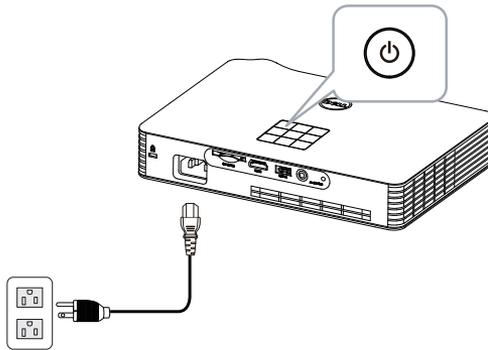
システムコンポーネント 要件

ソフトウェア	Intel® マイ Wi-Fi テクノロジー (Intel® MWT) および Intel® ワイヤレスディスプレイを事前にインストールし、有効化しておく必要があります。
オペレーティングシステム	Windows 7 (64 ビット)、Home Premium、Ultimate または Professional Windows 7 (32 ビット)、Home Premium、Ultimate、Professional または Basic Windows 8 32 ビットおよび 64 ビット版

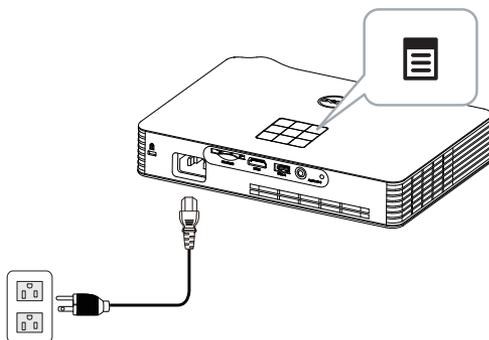
詳細情報は、Intel® WiDi ウェブサイト (www.intel.com/go/widi) を参照してください。

プロジェクトの Intel® WiDi を有効化する

- 1 電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押します。



- 2 プロジェクタコントロールパネルまたはリモコンのメニューボタンを押します。



メモ： 、、、 ボタンを使用して をナビゲートし選択します。

- 3 入力ソースに Intel® WiDi を選択します。



Intel® WiDi ガイドスクリーンが、次のように表示されます。



- 4 アダプタ名および PIN コードをメモしてください。後でログインするためにこれらの情報が必要となります。

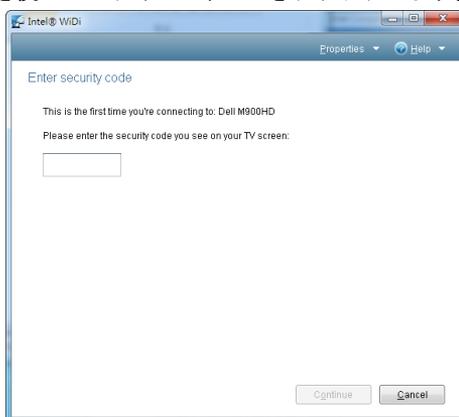
お使いのコンピュータ上で Intel® WiDi を起動する

- 5 Windows 検索バーに WiDi と入力します。お使いのコンピュータに Intel® WiDi が内蔵されていれば、検索結果に「Intel® WiDi」アプリケーションが表示されます。
- 6 お使いのコンピュータを Dell M900HD に接続します。



ログイン

Intel® ワイヤレスディスプレイ (WiDi) インストールのステップ 4 で提供された PIN コードを使ってログインし、OK をクリックします。



Wi-Fi ディスプレイのインストール

 **メモ:** コンピュータには以下の最低システム要件を満たしている必要があります。

オペレーティングシステム:

- Windows
Microsoft Windows XP Home または Professional Service pack 2 (32 ビットを推奨)、Windows Vista 32-bit、および Windows 7 Home または Professional (32 ビットまたは 64 ビット)、Windows 8 (32 ビットまたは 64 ビット)
- MAC
MacBook 以上、MacOS 10.5 ~ 10.8

最低ハードウェア:

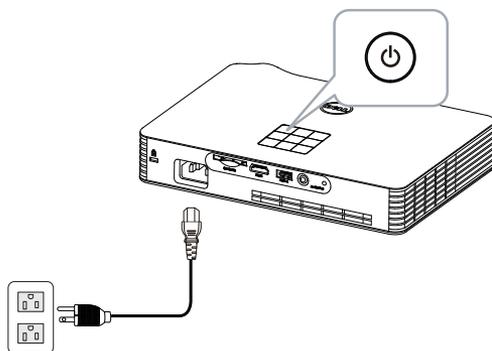
- a Intel Dual Core 1.8 MHz 以上
- b 256 MB の RAM (必須)、512 MB 以上を推奨
- c 10 MB の空きハードディスク容量
- d 64 MB VRAM 以上を搭載した nVIDIA または ATI グラフィックカード
- e イーサネット接続用のイーサネットアダプタ (10 / 100 bps)
- f WLAN 接続用にサポートされる WLAN アダプタ (任意の NDIS 準拠 802.11b または 802.11g または 802.11n Wi-Fi デバイス)

Web ブラウザ

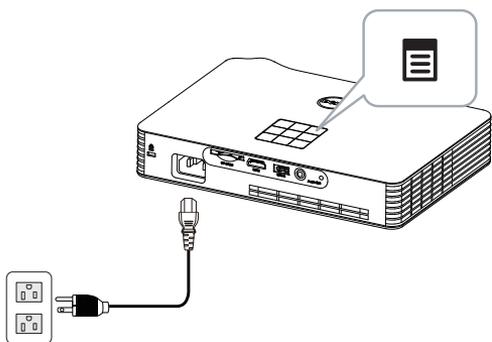
Microsoft Internet Explorer 6.0 または 7.0 (推奨) あるいは 8.0、Firefox 2.0、Safari 3.0 およびそれ以降

プロジェクタ上で Wi-Fi を有効にする

- 1 電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押します。



- 2 プロジェクタコントロールパネルまたはリモコンのメニューボタンを押します。



 **メモ：** 、、、 ボタンを使用して  をナビゲートし選択します。

- 3 入力ソースとして **Wi-Fi** を選択します。



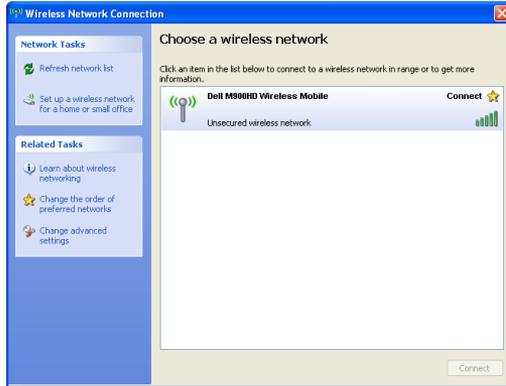
ワイヤレスガイド画面が以下に表示されます：



4 ワイヤレスネットワーク (SSID)、IP アドレスおよびアクセスコードをメモします。後でログインするためにこれらの情報が必要となります。

お使いのコンピュータ上に Dell プロジェクタ接続マネージャをインストールする

- 5 お使いのコンピュータを M900HD ワイヤレスネットワークに接続します。

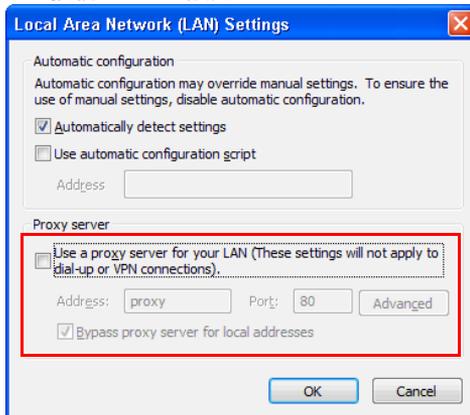


メモ:

- コンピュータには、接続を検出するためのワイヤレスネットワーク機能が搭載されている必要があります。
- M900HD ワイヤレスネットワークに接続すると、他のワイヤレスネットワークとワイヤレス接続を失います。

メモ:

すべてのプロキシをオフにするのを忘れないください。
(Microsoft® Windows Vista : コントロールパネル → インターネットオプション → 接続 → LAN 設定をクリックします)



- 6 インターネットブラウザを開きます。M900HD Web 管理 web ページに自動的にジャンプします。



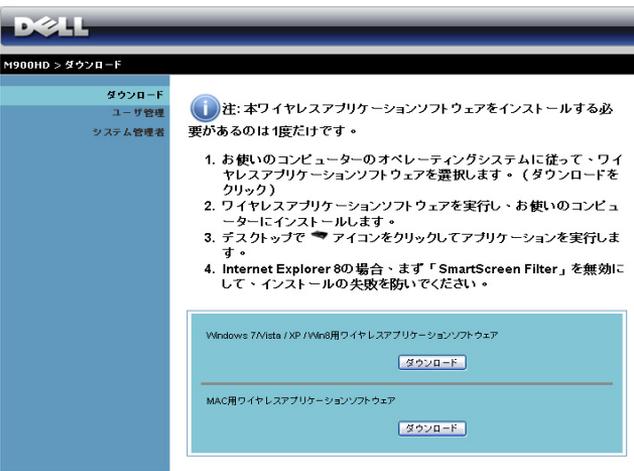
メモ：Web ページが自動的に読み込まれない場合、ブラウザのアドレスバーにプロジェクトの画面からメモした IP アドレスを入力してください（デフォルト IP アドレスは 192.168.100.10）。



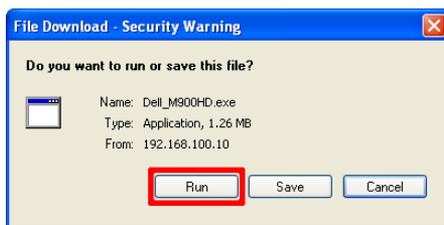
- 7 M900HD Web 管理ページが開きます。初めて使用する場合、**ダウンロード**をクリックします。



- 8 適切なオペレーティングシステムを選択し、**ダウンロード**をクリックします。



- 9 ファイル名を指定して**実行**をクリックして、ソフトウェアの1回限りのインストールに進みます。



-  **メモ**：ファイルを保存して後でインストールを選択することができます。これを実行するには、Save（保存）をクリックします。

-  **メモ**：コンピュータの不適切な権利のために、アプリケーションをインストールできない場合、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 10 インストールソフトウェアが起動します。画面の指示に従って、セットアップを完了します。



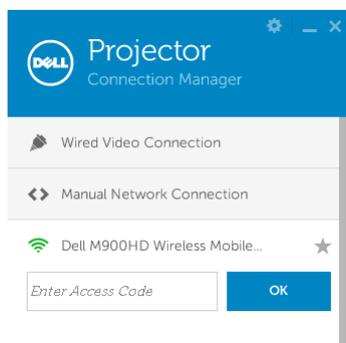
Dell プロジェクタ接続マネージャを起動します

インストールが完了すると、プログラムが自動的に起動し、検索します。プログラムが自動的に起動しない場合は、デスクトップ上の  アイコンをダブルクリックして、アプリケーションを起動することができます。Dell M900HD ワイヤレスモバイルを選択し、OK をクリックします。



ログイン

Wi-Fi ディスプレイインストールのステップ 4 で提供されたアクセスコードを使ってログインし、OK をクリックします。



ボタンを理解する

ログインが成功すると、次の画面が表示されます。

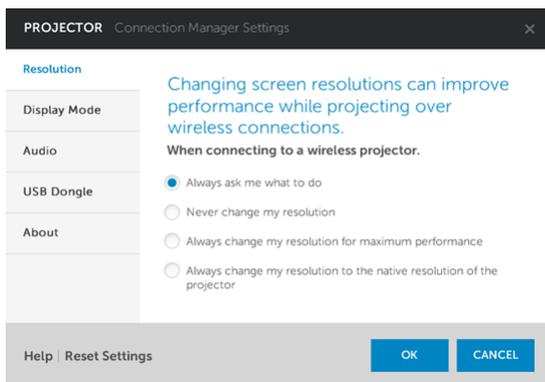


項目	説明
1	ステータスバー
 設定	クリックして、アプリケーション設定を有効にします。
 最小化ボタン	このボタンをクリックするとアプリケーションが最小化されます。
 閉じるボタン	このボタンをクリックするとアプリケーションが閉じます。
2	コントロールツールバー
 情報	クリックして、SSID、IP およびアクセスコード情報を表示します。
 共有モード	クリックして、共有モードを有効にします。
 ディスプレイモード	クリックして、表示モードを変更します。
 一時停止	このボタンをクリックすると投影が一時停止されます。
 投影	このアイテムをクリックすると、全画面で画像を投影します。
 サウンド	クリックして、サウンドを有効にします。

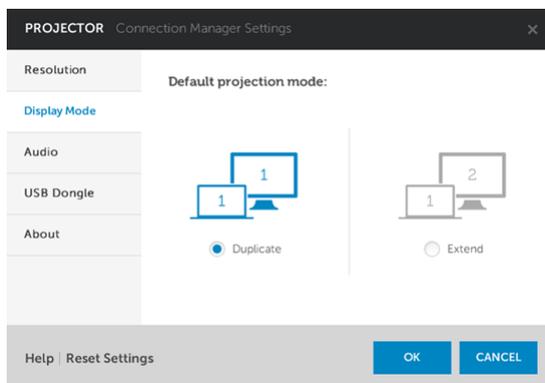
設定を使用する

 をクリックして設定メニューを表示します。

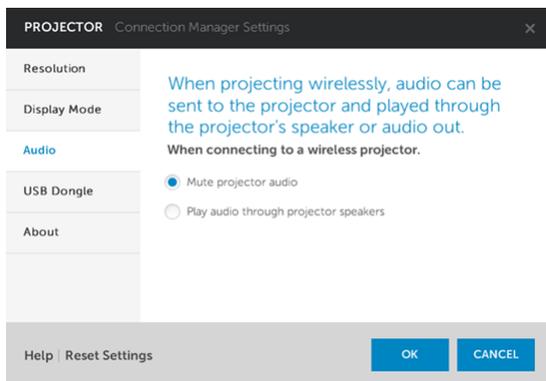
解像度 一解像度を設定します。



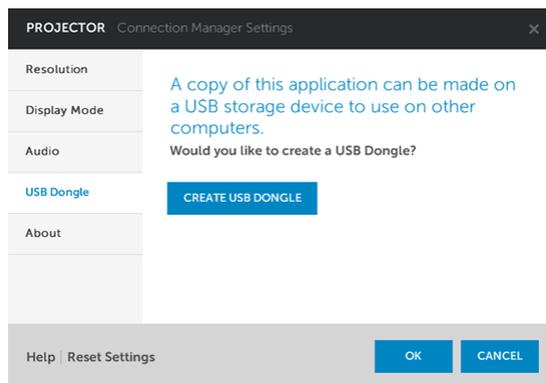
ディスプレイモード デフォルト投影モードを設定できます。



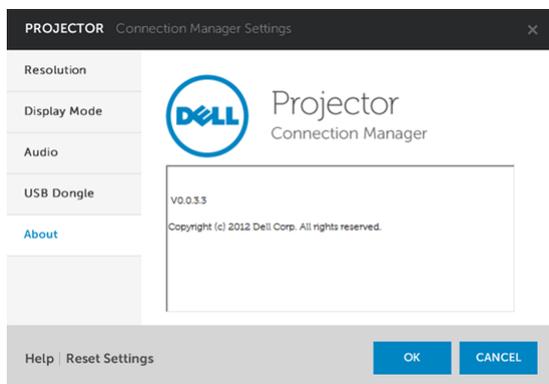
オーディオオーディオ設定を変更できます。



USB ドングル —USB ドングルを作成できます。70 ページの「アプリケーショントークンの作成」を参照してください。



このソフトウェアについて —アプリケーションのバージョンを表示します。



Web 管理からプロジェクトの管理

ネットワーク設定の設定

プロジェクトがネットワークに接続されている場合、Web ブラウザを使用してプロジェクトにアクセスできます。

Web 管理にアクセスする

Internet Explorer 6.0 以降または Firefox 2.0 以降を使用して、IP アドレスを入力します。これで Web 管理にアクセスし、リモートの場所からプロジェクトを管理できるようになりました。

ホームページ



- Web ブラウザにプロジェクトの IP アドレス（デフォルト IP アドレスは、192.168.100.10）を入力することで、Web 管理ホームページにアクセスします。
- リストから、Web 管理用の言語を選択します。
- 左タブのメニューアイテムをクリックして、ページにアクセスします。

Dell プロジェクタ接続マネージャをダウンロードする

48 ページの「Wi-Fi ディスプレイのインストール」を参照してください。

DELL

M900HD > ダウンロード

ダウンロード
ユーザ管理
システム管理者

注: 本ワイヤレスアプリケーションソフトウェアをインストールする必要があるのは1度だけです。

1. お使いのコンピューターのオペレーティングシステムに従って、ワイヤレスアプリケーションソフトウェアを選択します。(ダウンロードをクリック)
2. ワイヤレスアプリケーションソフトウェアを実行し、お使いのコンピューターにインストールします。
3. デスクトップで アイコンをクリックしてアプリケーションを実行します。
4. Internet Explorer 8の場合、まず「SmartScreen Filter」を無効にして、インストールの失敗を防いでください。

Windows 7/Vista / XP / Win8用ワイヤレスアプリケーションソフトウェア

ダウンロード

MAC用ワイヤレスアプリケーションソフトウェア

ダウンロード

Copyright © 2013 Dell Inc. All rights reserved.

コンピューターの対応するオペレーティングシステムのダウンロードボタンをクリックします。

プロジェクトの管理

システム管理者



M900HD > システム管理者

ダウンロード
ユーザ管理
システム管理者

管理者パスワード	<input type="text"/>	ログイン
PPID	CN-0C89JN-S0081-31B-0001	

Copyright © 2013 Dell Inc. All rights reserved.

管理ページにアクセスするには、管理者パスワードが要求されます。

- **管理者パスワード**: 管理者パスワードを入力して、**ログイン**をクリックします。初期設定のパスワードは「admin」です。パスワードを変更するには、66 ページの「パスワードの変更」を参照してください。

状態

M900HD > システム管理者 > 状態 ホーム >>

状態	ネットワーク状態	
ネットワークセットアップ	IPアドレス	192.168.100.10
投影セットアップ	サブネットマスク	255.255.255.0
パスワードの変更	デフォルトゲートウェイ	192.168.100.10
出荷時状態に戻す	接続状態	
ファームウェア更新	投影状態	投影待ち中
再起動	ユーザー数	0
	プロジェクターの状態	
	モデル名	M900HD

Copyright © 2013 Dell Inc. All rights reserved.

ネットワーク状態、接続状態、およびプロジェクターの状態情報を表示します。

ネットワーク状態

The screenshot shows the Dell M900HD network configuration utility. The interface is in Japanese and includes a sidebar with navigation options like '状態' (Status), 'ネットワークセットアップ' (Network Setup), '投影セットアップ' (Projection Setup), 'パスワードの変更' (Change Password), '出荷時状態に戻す' (Restore to Factory Default), and 'ファームウェア更新' (Firmware Update). The main area is divided into three sections: IP Setup, DHCP Setup, and Wireless Setup. The IP Setup section has radio buttons for 'IPアドレスを自動的に取得' (Obtain IP address automatically) and '次のIPアドレスを使用する' (Use the following IP address). The DHCP Setup section has radio buttons for '自動' (Automatic) and '無効' (Disabled). The Wireless Setup section includes fields for '地域' (Region), 'SSID', 'SSIDブロードキャスト' (SSID Broadcast), 'Frequency Band', 'チャンネル' (Channel), 'セキュリティ' (Security), and 'キー' (Key). At the bottom, there are '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

設定項目	設定値
<input checked="" type="radio"/> IPアドレスを自動的に取得 <input type="radio"/> 次のIPアドレスを使用する	
IPアドレス	192 168 100 10
サブネットマスク	255 255 255 0
デフォルトゲートウェイ	192 168 100 10
DNSサーバー	192 168 100 10
<input checked="" type="radio"/> 自動 <input type="radio"/> 無効	
開始IPアドレス	192 168 100 11
終了IPアドレス	192 168 100 254
サブネットマスク	255 255 255 0
デフォルトゲートウェイ	192 168 100 10
DNSサーバー	192 168 100 10
地域	---- WORLDWIDE ----
SSID	Dell M900HD cbc2
SSIDブロードキャスト	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
Frequency Band	<input checked="" type="radio"/> 2.4 GHz <input type="radio"/> 5 GHz
チャンネル	自動
セキュリティ	無効
キー	

Copyright © 2013 Dell Inc. All rights reserved.

IP セットアップ

- IP アドレスを自動的に取得を選択して IP アドレスをプロジェクトに自動的に割り当てるか、次の IP アドレスを使用するで IP アドレスを手動で割り当てます。

DHCP セットアップ

- 自動を選択して開始 IP アドレス、終了 IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバアドレスを DHCP サーバから自動的にセットアップするか、またはオフにするでこの機能を無効にします。

無線セットアップ

- **有効**を選択して**地域**、**SSID**、**SSID ブロードキャスト**、**周波数帯**、**チャンネル**、**暗号化**、**キー**をセットアップします。**オフにする**を選択して、ワイヤレスセットアップを無効にします。

SSID : 最大 32 の文字長。

暗号化 : WPA キーを無効にしたり、ASCII または HEX 文字列で 64 ビットまたは 128 ビットのどちらかを選択します。

キー : 暗号化が有効になると、選択した暗号化モードに従ってキー値を設定する必要があります。

適用 ボタンをクリックして変更を保存し、適用します。変更を有効にするには、プロジェクトを再起動する必要があります。

投影セットアップ



投影セットアップ

認証コード：プロジェクタでログインコードの生成方法を選択します。3つのオプションがあります。

- **オフにする**：システムにログインしているとき、ログインコードは必要ありません。
- **ランダム**：デフォルトはランダムです。ログインコードはアトランダムに生成されます。
- **指定**：4桁のコードを入力します。このコードは、システムにログインするために使用されます。

適用ボタンをクリックして変更を保存し、適用します。変更を有効にするには、プロジェクタを再起動する必要があります。

パスワードの変更

The screenshot shows the Dell M900HD System Administrator web interface. At the top, the Dell logo is on the left, and the breadcrumb path 'M900HD > システム管理者 > パスワードの変更' is in the center. On the right, there is a 'ホーム' (Home) link. A left-hand navigation menu lists several options: '状態' (Status), 'ネットワークセットアップ' (Network Setup), '投影セットアップ' (Projection Setup), 'パスワードの変更' (Change Password), '出荷時状態に戻す' (Restore to Factory Default), and 'ファームウェア更新' (Firmware Update). Below these is a '再起動' (Restart) button with a power icon. The main content area is titled 'システム管理者' (System Administrator) and contains a form with two input fields: '新しいパスワード' (New Password) and 'パスワード再入力' (Re-enter Password). A '適用' (Apply) button is located to the right of the second field. At the bottom of the page, a copyright notice reads 'Copyright © 2013 Dell Inc. All rights reserved.'

このページにより、管理者パスワードを変更します。

- **新しいパスワード**：新しいパスワード。
- **パスワード再入力**：パスワードを再入力して、**適用**をクリックします。



メモ：管理者パスワードを忘れた場合、Dell にご連絡ください。

出荷時状態に戻す

DELL

M900HD > システム管理者 > 出荷時状態に戻す

ホーム

The screenshot shows a web-based system management interface. On the left is a vertical sidebar with several menu items: '状態' (Status), 'ネットワークセットアップ' (Network setup), '投影セットアップ' (Projection setup), 'パスワードの変更' (Change password), '出荷時状態に戻す' (Restore factory settings), and 'ファームウェア更新' (Firmware update). Below these is a '再起動' (Restart) button with a red power icon. The main content area has a light blue background and features a yellow warning icon with an exclamation mark. The text reads: '出荷時状態に戻す' followed by 'これで、ワイヤレス/ネットワークの設定をデフォルト設定に戻します。' (This will restore wireless/network settings to default). At the bottom of this area is a '適用' (Apply) button. The footer of the page is black with white text: 'Copyright © 2013 Dell Inc. All rights reserved.'

適用ボタンをクリックしてすべてのワイヤレス / ネットワーク設定を工場出荷時の初期設定に復元します。

ファームウェア更新

ファームウェア更新ページを使って、プロジェクトの Wi-Fi および Intel® WiDi ファームウェアを更新します。

The screenshot shows the Dell M900HD system management interface. At the top is the Dell logo. Below it, the navigation path is 'M900HD > システム管理者 > ファームウェア更新'. A 'ホーム' button is in the top right. On the left is a sidebar menu with options: '状態', 'ネットワークセットアップ', '投影セットアップ', 'パスワードの変更', '出荷時状態に戻す', and 'ファームウェア更新' (which is highlighted). Below the menu is a '再起動' button. The main content area shows the 'ワイヤレスファームウェアバージョン' (Wireless Firmware Version) as 'W23' and the 'リリース日' (Release Date) as '20130419'. Below this is a warning message: 'ファームウェアのアップデートには数分かかります。いったんプロセスが開始されたら中断しないで下さい。更新が完了すると、ワイヤレスシステムは自動的に再起動します。更新するファイル(*.awd)を選択してください。' There is a text input field for the 'ファイル名' (File Name) and a '参照...' button. A '更新' button is at the bottom of the form. At the very bottom of the interface, it says 'Copyright © 2013 Dell Inc. All rights reserved.'

ファームウェア更新を開始するには、次のステップを行います：

- 1 dell.com/support からファームウェアファイルをダウンロードできます。
- 2 参照を押して更新するファイルを選択します。
- 3 更新ボタンをクリックして開始します。デバイスでファームウェアを更新している間、お待ちください。

A warning message box with a yellow triangle icon containing an exclamation mark. The text reads: 'ファームウェアを書き込み中は、お待ちください。' Below this is a warning: '警告：フラッシュメモリに書き込むために5~7分を要します。この間にシャットダウンや再起動の様な割り込み操作が発生する場合、システムが破壊されてしまいます!!' At the bottom, it says '残り時間：407秒'.

△ **注意：更新プロセスを中断しないでください。システム破壊の原因となります。**

- 4 更新が完了したら、確認をクリックします。



再起動

The screenshot shows the Dell M900HD System Management interface. At the top, the Dell logo is displayed. Below it, the breadcrumb navigation reads 'M900HD > システム管理者 > 再起動'. A 'ホーム >>' link is visible in the top right corner. On the left side, there is a vertical menu with the following items: '状態', 'ネットワークセットアップ', '投影セットアップ', 'パスワードの変更', '出荷時状態に戻す', and 'ファームウェア更新'. The '再起動' option is highlighted with a red square icon. The main content area has a light blue background and features a yellow warning triangle icon with an exclamation mark. The text '再起動' is prominently displayed, followed by the message 'これでワイヤレスネットワークがすぐに再起動します。' (Wireless network will restart immediately with this). A '再起動' button is located at the bottom of the main content area. At the very bottom of the page, a black footer contains the text 'Copyright © 2013 Dell Inc. All rights reserved.'

再起動をクリックすると、システムが再起動します。

アプリケーショントークンの作成

[アプリケーショントークン]では、USB トークンを使用して [プラグおよび表示] を実行できます。

- 1 アプリケーションソフトウェアで、 > **USB ドングル** をクリックします。
- 2 次の画面が表示されます。[次へ] をクリックします。



- 3 コンピュータの USB ポートのどれかにフラッシュドライブを差し込みます。リストからドライブを選択し、[次へ] をクリックします。



- 4 [終了] をクリックしてウィザードを閉じます。



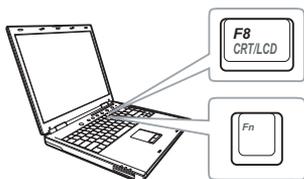
4

プロジェクタのトラブルシューティング

プロジェクタに問題が生じた場合は、次のトラブルシューティングを参照してください。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください (Dell™ へのお問い合わせは 79 ページをご覧ください)。

問題

画面に画像が表示されない



解決方法

- プロジェクタの電源がオンになっていることを確認します。
- 「入力ソース」メニューで、正しい入力ソースを選択していることを確認してください。
- 外部グラフィックスポートが有効になっていることを確認します。Dell ノートパソコンをご使用の場合は   (Fn+F8) を押します。その他のコンピュータについては、それぞれの取扱説明書をお読みください。画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。Dell コンピュータの場合、support.dell.com を参照してください。
- すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。7 ページの「プロジェクタの接続」をご覧ください。
- コネクタのピンが曲がったり、折れたりしていないことを確認します。
- **詳細設定メニューの投写機設定のテストパターン**を使用します。テストパターンの色が正しいことを確認します。

問題 (続き)	解決方法 (続き)
画像が一部しか表示されない、スクロールする、または、正しく表示されない	<p>Dell™ ノートパソコンをお使いの場合は、コンピュータの解像度を WXGA (1280 x 800) に設定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> Microsoft® Windows® デスクトップの空白部分を右クリックし、プロパティ をクリックして 設定 タブを選択します。 外部モニターポートの設定が 1280 x 800 ピクセルになっていることを確認します。   (Fn+F8) を押します。 <p>解像度を変更できない場合や、モニターがフリーズする場合は、すべての装置とプロジェクトを再起動します。</p> <p>Dell™ ノートパソコンをご使用でない場合は、取扱説明書をお読みください。画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。Dell コンピュータについては、dell.com/support を参照してください。</p>
画面にプレゼンテーションが表示されない	ノートパソコンをお使いの場合は、   (Fn+F8) を押します。
画像が不安定、または、ちらつく	詳細設定 メニューの OSD 表示設定 でトラッキングを調整します (PC モードのみ)。
画像に縦線が入る	詳細設定 メニューの OSD 表示設定 で周波数を調整します (PC モードのみ)。
画像の色が正しくない	詳細設定 メニューの 投写機設定 の テストパターン を使用します。テストパターンの色が正しいことを確認します。
画像の焦点が合わない	<ol style="list-style-type: none"> プロジェクタレンズのフォーカシングを調整します。 投影画面がプロジェクタから許容距離内にあることを確認します (91 cm ~ 240 cm)。
画像が反転する	OSD で 詳細設定 の 投写機設定 を選択し、投影モードを調整します。

問題 (続き)	解決方法 (続き)
エラー LED がオレンジ色で点滅	プロジェクタのファンが故障し、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。
温度 LED がオレンジ色で点灯	プロジェクタが過熱しています。ディスプレイは自動的にシャットダウンします。プロジェクタが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。
温度 LED がオレンジ色で点滅	プロジェクタのファンが故障すると、プロジェクタは自動的に停止します。電源ボタンを 10 秒間押し続けることで、プロジェクタモードを消去してください。5 分間待ってから、再び電源をオンにしてください。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。
OSD が画面に表示されない	パネルにあるメニューボタンを 15 秒間押し続けて OSD のロックを解除します。30 ページのメニューロックを確認します。
リモコンがスムーズに動作しない、または、限られた範囲でしか動作しない。	電池の残量が少なくなっています。遠隔地からの LED 表示が弱過ぎないか点検します。LED インジケータが弱い場合は、新しい CR2025 電池と交換します。
DoUSB が表示されません	Display over USB (DoUSB) は、自動的に実行されます。手動で USB ディスプレイを実行するには、マイコンピュータに移動し、「USB_Display.exe」を実行します。  メモ: ドライバをインストールするには、管理者レベルのアクセス権が必要になります。ネットワーク管理者に連絡し、サポートを求めてください。

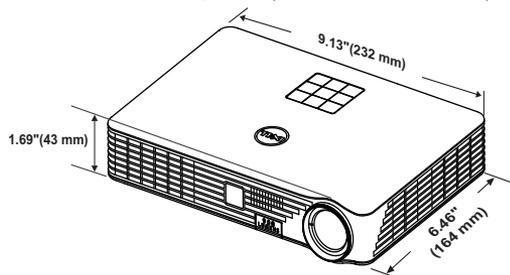
ガイド信号

投影状態	説明	コントロールボタン インジケータ		
		電源 (白 / オレンジ色)	TEMP (オレンジ色)	△ (オレンジ色)
スタンバイモード	スタンバイモードのプロジェクト。電源を入れる準備ができました。	白の点滅	オフ	オフ
LED オン	通常モードのプロジェクト。画像表示の準備ができました。	白	オフ	オフ
冷却モード	プロジェクトは冷却してシャットダウンします。	白	オフ	オフ
プロジェクトが過熱	通気口が塞がれているか、周囲温度が35°Cを超えていることが考えられます。通気口が詰まっておらず、周囲温度が動作範囲内であることを確認します。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オレンジ色	オフ
ファンが故障しています	ファンの1つが故障しました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オレンジ色で点滅	オフ
LED 故障	欠陥のある LED が点灯します。	オフ	オフ	オレンジ色
R-LED ドライバ過熱	通気口が塞がれているか、R-LED ドライバが過熱しています。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。プロジェクトが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色	オレンジ色	オフ

5 仕様

ライトバルブ	0.45" WXGA S450 DMD、DarkChip3™
明るさ	900 ANSI ルーメン (最大)
コントラスト比	最大 : 10000:1 APM ネイティブ : 700:1 標準 (フルオン / フルオフ)
均質性	85% 標準 (日本規格 - JBMA 日本事務機械工業会)
画素数	1280 x 800 (WXGA)
縦横比	16:10
内部フラッシュ	2 GB メモリ (最大)
表示可能な色	10.7 億色
投影レンズ	固定焦点レンズ (F/1.5) 投影比 = 1.4 ワイドおよび望遠 オフセット比 : 105% ± 5%
投影画面サイズ	30-80 インチ (対角)
投影距離	2.98 ~ 7.87 フィート (91 cm ~ 240 m)
ビデオ互換性	HDMI 入力 :1080p、720p、576i/p、480i/p
電力供給	ユニバーサル AC 100 ~ 240 V 50/60 Hz (PFC 入力付)
消費電力	通常モード : 142 W ± 10% @ 110 Vac エコモード : 106 W ± 10% @ 110 Vac 省電力モード : <0.5 W (最低のファン速度) スタンバイモード : < 0.5 W
オーディオ	スピーカー 1つ、3 ワット RMS

ノイズレベル	フルオンモード : 標準 : 36 dB(A)、最大 : 38 dB(A) エコモード : 標準 : 34 dB(A)、最大 : 36 dB(A)
質量	3.5 lbs (1.59 kg)
寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	9.13 x 1.69 x 6.46 インチ (232 x 43 x 164 mm)



環境条件	動作温度 : 5 °C ~ 35 °C (41 °F ~ 95 °F) 湿度 : 80% 最大 保管温度 : 0 °C ~ 60 °C (32 °F ~ 140 °F) 湿度 : 90% 最大 輸送温度 : -20 °C ~ 60 °C (-4 °F ~ 140 °F) 湿度 : 90% 最大
I/O コネクタ	電源 : 1つの AC 電源ソケット (3ピン - C14 インレット) HDMI 入力 : 1つの HDMI コネクタ (HDMI 1.3 のサポート用)。HDCP 準拠。 オーディオ出力 : 1つの 3.5 mm ステレオミニ電話ジャック。 USB (タイプ A) ポート : USB ディスプレイ、マルチメディア再生 (ビデオ / 音楽 / 写真 / オフィスビューア)、USB メモリストレージアクセス (USB フラッシュドライブ / 内部メモリ) およびプロジェクタのファームウェアアップグレード用 USB コネクタ 1 式。 USB サムドライブは、最大 32 GB をサポートします。

	SD カードスロット：マルチメディア再生（ビデオ / 音楽 / 写真 / オフィスビューア）用の SD カードスロット 1 式。 SD カードは、最大 32 GB をサポートします。
ワイヤレス	ワイヤレス標準：IEEE 802.11a/b/g/n (2T2R) OS 環境：Windows 8/7/Vista/XP/2000、MAC OS X MobiShow および WiFi-Doc 投影をサポートします。
光源	水銀フリーの LED（ノーマルモードで最大 20000 時間）



メモ：プロジェクタの LED 寿命定格は明るさの低下のみを測定し、LED が故障し光の出力をやめるまでの時間を計る仕様ではありません。LED の寿命は 50 パーセント以上の LED サンプル群が、指定された LED に対して約 50 パーセントの定格ルーメンの明るさが減少するまでの時間として定義されます。LED の寿命定格は、いかなる方法でも保証されません。プロジェクタ LED の実際の動作寿命は操作条件と使用パターンにより異なります。埃っぽい環境、高温下および突然の電源遮断を含むストレスの多い条件で、長時間プロジェクタを使用すると、LED の動作寿命が短くなったり、LED が故障する原因となります。

互換モード (デジタル)

解像度	リフレット シュレート (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル・ク ロック (MHz)
640 x 350	70.087	31.469	25.175
640 x 480	59.940	31.469	25.175
720 x 480 p60	59.940	31.469	27.000
720 x 576 p50	50.000	31.250	27.000
720 x 400	70.087	31.469	28.322
640 x 480	75.000	37.500	31.500
640 x 480	85.008	43.269	36.000
800 x 600	60.317	37.879	40.000
800 x 600	75.000	46.875	49.500
800 x 600	85.061	53.674	56.250
1024 x 768	60.004	48.363	65.000
1280 x 720 p50	50.000	37.500	74.250
1280 x 720 p60	60.000	45.000	74.250
1920 x 1080 i50	50.000	28.125	74.250
1920 x 1080 i60	60.000	33.750	74.250
1280 x 720	59.855	44.772	74.500
1024 x 768	75.029	60.023	78.750
1280 x 800	59.810	49.702	83.500
1366 x 768	59.790	47.712	85.500
1360 x 768	60.015	47.712	85.500
1024 x 768	84.997	68.677	94.500
1440 x 900	59.887	55.935	106.500
1280 x 1024	60.020	63.981	108.000
1400 x 1050	59.978	65.317	121.750
1280 x 800	84.880	71.554	122.500
1280 x 1024	75.025	79.976	135.000
1440 x 900	74.984	70.635	136.750
1680 x 1050	59.954	65.290	146.250
1280 x 960	85.002	85.938	148.500
1920 x 1080	60.000	67.500	148.500
1024 x 768	119.989	97.551	115.500



メモ : HDMI 1024 x 768(120 Hz 時) DLP リンク 3D、連続フレームをサポート

6

Dell へのお問い合わせ

米国内のお客様は 800-WWW-DELL (800-999-3355) までご連絡ください。



注意：インターネット接続がない場合は、発注書、梱包明細書、請求書、または Dell 製品カタログにある連絡先情報をご覧ください。

Dell™ では、さまざまなオンラインおよび電話サポートとサービスを提供しております。ご利用については、お住まいの国および製品によって異なります。また、お住まいの地域でご利用いただけないサービスもございます。販売、技術サポート、お客様サービスに関する Dell へのお問い合わせ：

- 1 www.dell.com/contactDell を参照してください。
- 2 インタラクティブマップで地域を選択します。
- 3 連絡先のセグメントを選択します。
- 4 必要なサービスまたはサポートリンクを選択します。

7

付録：用語集

ANSI ルーメン — 明るさの単位です。1 平方メートルの画像を、9 つの同じ長方形に分割し、各長方形の中心のルクス（または明るさ）を測定して、9 つの点の平均値を求めて算出します。

縦横比 — 最も一般的な縦横比は 4:3 (4 x 3) です。旧式のテレビやコンピュータビデオの形式は 4:3 縦横比です。つまり、画像の幅は画像の高さの 4/3 倍になります。

明るさ — ディスプレイや投影ディスプレイ、または投影デバイスから発する光の量です。プロジェクタの明るさは ANSI ルーメンで表されます。

色温度 — 白光の色を表します。色温度が低いほど暖色（黄色または赤みが強い）であることを意味し、色温度が高いほど寒色（青みが強い）を意味します。色温度の標準単位はケルビン (K) です。

圧縮解像度 — 入力画像の解像度がプロジェクタのネイティブ解像度よりも高い場合に、画像をプロジェクタのネイティブ解像度に合わせて圧縮します。デジタルデバイスで圧縮すると画像コンテンツの一部が失われます。

コントラスト比 — 画像の中の明るい部分と暗い位部分の範囲、または最大および最小値の間の比率を指します。プロジェクタ業界では 2 つのコントラスト比の測定方法が使われています。

1 フルオン/ オフ完全に白い画像（フルオン）の光出力と完全に黒い画像（フルオフ）の光出力の比率を測定します。

2 ANSI 16 の交互に並んだ黒と白の長方形のパターンを測定します。白い長方形からの光出力の平均を、黒い長方形からの光出力の平均で割り、ANSI コントラスト比を算出します。

同じプロジェクタでは、フルオン/ オフコントラストは ANSI コントラストよりも大きい値になります。

dB — デジベル — 通常は聴覚または電子信号の間で電力と強度の相対差異を表す単位で、2 レベルの比率の常用対数の 10 倍に相当します。

対角画面 — 画面サイズまたは投影画像のサイズを測定する方法です。1 つの角から対角線上の角までを測定します。9 フィート高、12 フィート幅のスクリーンの対角は 15 フィートです。この文書では、上の例のように、対角寸法はコンピュータ画像の従来の 4:3 の比率用とみなします。

DLP® — Digital Light Processing™ (デジタル光処理) — Texas Instruments 社が開発した反射型ディスプレイ技術、小型操作ミラーを使用。光がカラーフィルターを通して DLP ミラーへ伝送されます。DLP ミラーが RGB 色を画面に投影される画像に配色します。DMD とも呼ばれます。

DMD — digital Micro-Mirror Device — 各 DMD には数千の傾斜角、微小なアルミ合金ミラーが隠れたヨークに搭載されています。

焦点距離 — レンズの表面からその焦点までの距離。

周波数 — 電気信号の 1 秒当たりの周期の繰返し速度です。単位は Hz (ヘル

ツ) です。

HDCP — 広帯域デジタルコンテンツ保護 — DVI や HDMI などのデジタルインターフェイスを使いデジタルエンタテインメントを保護するために、Intel™ が開発した仕様です。

HDMI — High Definition Multimedia Interface (ハイデフィニション・マルチメディア・インターフェース) — HDMI は、デジタルオーディオ付きの未圧縮の高解像度ビデオとデバイスコントロールデータを1つのコネクタで伝送します。

Hz (ヘルツ) — 周波数の単位。

キーストーン補正 — プロジェクタと画面の角度が不適切なために起こる投影画像の歪み (通常、上部が広く下部が細くなる現象) を修正するデバイスです。

最大距離 — プロジェクタが、完全に暗い部屋で使用可能な (十分に明るい) 画像を投影できる画面からの距離。

最大画像サイズ — 暗い部屋でプロジェクタが投影できる最大画像サイズ。通常、光学部品の焦点範囲によって制限されます。

最小距離 — プロジェクタが画面上で画像の焦点を合わせることのできる最小距離。

NTSC — National Television Standards Committee (全米テレビ放送規格委員会)。ビデオおよび放送用の北米規格、525 ライン・30 フレーム毎秒のビデオ形式。

PAL — Phase Alternating Line (走査線位相反転)。ビデオおよび放送用の欧州放送規格。625 ライン・25 フレーム毎秒のビデオ形式。

画像の反転 — 画像を水平に反転する機能です。通常の前向き投射で使用すると、文字や画像などは後ろ向きになります。画像の反転は背面投射で使います。

SVGA — Super Video Graphics Array (スーパービデオグラフィックスアレイ) — 800 x 600 ピクセル。

SXGA — Super Extended Graphics Array (スーパー拡張グラフィックスアレイ) — 1280 x 1024 ピクセル。

UXGA — Ultra Extended Graphics Array — 1600 x 1200 ピクセルカウント。

VG — Video Graphics Array — 640 x 480 ピクセルカウント。

XGA — Extended Video Graphics Array (拡張ビデオグラフィックスアレイ) — 1024 x 768 ピクセル。

WXGA — Wide Extended Graphics Array (ワイド拡張グラフィックスアレイ) — 1280 x 800 ピクセル。

ズームレンズ — 可変式焦点距離のレンズで、画像を縮小したり拡大して表示できます。

ズームレンズ比 — レンズが固定距離から投影できる最小画像と最大画像の比率です。例えば、1.4:1 ズームレンズ比とは、ズームなしの10フィート画像が、フルズームでは14フィートになることを意味します。

索引

D

Dell への
お問い合わせ 79, 80, 79
Dell へのお問い合わせ 4, 73

お

オンスクリーンディスプレイ 25
入力ソース 25

こ

コントロールパネル 19

さ

サポート
Dell へのお問い合わせ 79,
80, 79

し

仕様
I/O コネクタ 76
明るさ 75
オーディオ 75
画素数 75
環境条件 76
均質性 75
コントラスト比 75
質量 76
縦横比 75
消費電力 75

寸法 76
電力供給 75
投影画面サイズ 75
投影距離 75
投影レンズ 75
内部フラッシュ 75
ノイズレベル 76
ビデオ互換性 75
表示可能な色 75
ライトバルブ 75

せ

接続ポート
HDMI コネクタ 7
オーディオ出力コネクタ 7
セキュリティケーブルス
ロット 7
電源コードコネクタ 7

て

テストパターン 29
電話番号 79

と

投影画像の調整 15
プロジェクタの高さ調整 15
トラブルシューティング 71
Dell へのお問い合わせ 71

は

- パスワード 30
- パワー設定 33
- パワーセーブ 33

ふ

- プロジェクトの接続
 - HDMI ケーブル 11
 - HDMI ケーブルでの接続 11
 - SD カード 13
 - USB フラッシュディスク 12
 - USB-A - USB-A ケーブル 8
 - 電源コード 8, 11, 12, 13
 - コンピュータへ 8
- プロジェクトの電源を入れる/切る
 - プロジェクトの電源を切る 14
 - プロジェクトの電源を入れる 14
- プロジェクトのズームとフォーカスの調整 16
 - フォーカスリング 16

ほ

- 本体 5
 - 3W スピーカー 5
 - IR レシーバ 5
 - エレベーターフット 5
 - エレベータボタン(高さ調整用) 5
 - コントロールパネル 5
 - フォーカスリング 5
 - レンズ 5

め

- メニュー設定 30
- メニュー位置 30
- メニュータイムアウト 30
- メニューの透明度 30

り

- リセット、出荷時 30
- リモコン 21